【福岡人権擁護委員協議会】

令和５年７月、福岡市、宗像市、糸島市の小学校を対象に、プロバスケットチーム「ライジングゼファーフクオカ」の選手を講師に迎え、福岡市の人権擁護委員とともに人権・スポーツ教室を実施しました。人権擁護委員と選手から、一人ひとりが安心してスポーツを楽しむためには、どんなことが大切かを教えられた生徒たちは、大きな声を出して応援をし、ミスをしても仲間を責めずに協力しながらプレーをしていました。プレー後には、グループで話合いをし、悪口を言わないこと、励まし合うことで、みんなが楽しくプレーできるなどを発表していました。

【田川人権擁護委員協議会】

令和５年６月８日、田川郡添田町立中元寺小学校、同月２６日、田川郡川崎町立真崎小学校、同月２８日、福智町立弁城小学校、７月４日、猪位金学園の４校で開催された「人権スポーツ教室」では、小学４年生から６年生を対象に、プロバスケットボールチーム「ライジングゼファーフクオカ」の選手からバスケットボールを通じて、相手を思いやる心の大切さや応援・励ましが相手の力（やる気）になることの話がありました。

児童らは終始笑顔が絶えず、また、選手のプロとしての力を目の当たりにして、感動と学びの９０分を過ごしました。

また、人権擁護委員から児童に対しては、安心してスポーツを楽しむために必要なことの話やＳＯＳミニレターの紹介があり、ひとりで悩まず、相談することの大切さを伝えました。